

2023年度 第2回 英米文学科公開講演会

“The experience of English University Students:

As seen from Japan”

「日本から見たイギリスの大学生の経験」



【講演内容】

この講演では、日本の学生が最も驚くであろう点に焦点を当てながら、イギリスの大学生としての経験を探る。特に、16歳で理系と文系に分かれること、最終学歴を得る前に大学に出願するシステム、私立高校と公立高校からの出願者の違い、恵まれない背景を持つ学生に対する定員枠、パートタイムや社会人学生の多さ、大学教育費のローン制度などについて検証する。これらすべての背景には、イギリスにおける社会階級制度の継続的な重要性がある。

日産日本学教授(2003年より)
オックスフォード大学セント・アントニーズ・カレッジ学長(2017年より)
英国社会科学アカデミー会長(2015～21年)。

14冊の著書の著者または編集者であり、そのうちの数冊は日本語に翻訳されている。『帰国子女:新しい特権層の出現』岩波書店(1992年)、『海外における日本人、日本の中の外国人』昭和堂(2003)、『日本の児童養護:児童養護学への招待』明石書店(2006)、『若者問題の社会学:視線と射程』明石書店(2013)、『日本の私立大学はなぜ生き残るのか:人口減少社会と同族経営:1992-2030年』中央公論(2022)。

2023年10月より、日本の同族経営医療機関に関する新たな研究プロジェクトに着手。

講師 : ロジャー・グッドマン教授

(日産日本学教授・日産日本問題研究所長)

日時 : 2023年11月9日(木)

13:10～14:30

場所 : 中央講堂(本部棟)